

# 日本放送協会 理事会議事録

(2020年11月10日開催分)

2020年11月27日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2020年11月10日(火) 午前10時30分～10時50分

<出席者>

前田会長、正籬副会長、松坂専務理事、板野専務理事、  
児野専務理事・技師長、中田専務理事、角理事、若泉理事、松崎理事、  
小池理事、田中理事、林理事、坂本特別主幹  
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

前田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) NHK経営計画(2021-2023年度)(案)について
- (2) インターネット活用業務実施基準の変更について

## 2 報告事項

- (1) 会計検査院による令和元年度決算検査について
- (2) 考査報告
- (3) 放送番組審議会議事録(資料)

### 3 審議事項

#### (3) 第1365回経営委員会付議事項について

#### 議事経過

##### 1 審議事項

#### (1) NHK経営計画（2021－2023年度）（案）について （経営企画局）

「NHK経営計画（2021－2023年度）（案）」（以下、「経営計画（案）」）について、審議をお願いします。

8月4日に経営委員会の了承を得た「経営計画（案）」は、8月5日から30日間、経営委員会による意見募集が行われ、1,800件を超えるご意見が寄せられました。これらのご意見などを踏まえて内容を検討し、修正しています。

全体として、次期中期経営計画の取り組みや狙いがよりしっかりと伝わるよう、3か年で取り組む重点や構造改革などの軸は変えず、「スリムで強靱なNHK」へと生まれ変わることへの決意が、より伝わるように表現を改めました。また、重点施策については、より具体的に記載しました。

修正前は「NHKらしさの追求」を括弧でくくっていましたが、「新しい」も含めて「新しいNHKらしさの追求」を括弧でくくり、「スリムで強靱な『新しいNHK』」に変わる、という姿勢を明確にしました。

また、既存業務を見直して3か年で500億円規模の支出削減を行うとともに、放送波の整理・削減を進めることなども、明記しました。

見出しを「NHKが基本と考える公共的価値」とし、表現を一部変えました。2つ目の項目では、「生活の安全、豊かさ」の次に「教育、福祉」ということばを加え、また5つ目の項目は、視聴者のみなさまの視点からNHKとの関係性を表す表現に改めました。

また、「持続可能な開発目標（SDGs）の考え方も踏まえながら」という文言を入れ、さまざまな放送・サービスを通して持続可能な社会の実現に貢献するとともに、NHK自信も環境経営の推進や、多様性をより重視する人事制度などによって、持続可能な組織をめざしていくとい

う姿勢を打ち出しました。

続いて、「5つの重点ごとの具体施策」についてです。主な修正点として「1. 安全・安心を支える」では、「大阪拠点放送局の機能を強化する」とし、事業継続の観点から、大阪の機能強化に取り組むことを示しました。「2. 新時代へのチャレンジ」では、「ジャンル別管理の導入」について、重複する番組を削減して経営資源を集中させ、質の高いコンテンツを提供することが「新時代へのチャレンジ」であることを、この項目に記載しました。「3. あまねく伝える」では、NHKが公共メディアとして、人々をつなぐ場となることなどを記載しました。「5. 人事制度改革」では、地域に根差す人材をこれまで以上に生かしていくことを新たに加えています。

続いて、「スリムで強靱な『新しいNHK』をめざす構造改革」についてです。

衛星波の整理・削減の時期等については、現在検討作業を進めており、決まり次第、追記します。

「インターネット活用業務」については、地域向けの放送番組の提供などについて書き加えました。

『受信料の価値を最大化』するためのマネジメント施策については、「グループ全体で『NHKらしさ』を追求できるよう、ガバナンスを強化」の項目に、「持株会社の導入を視野に、ガバナンスの強化と効率性の追求を進めます」という文章を加えました。

続いて、「計画期間中の収支と受信料の考え方」についてです。

3か年の収支の見通しについては、現在、来年度の予算・事業計画とあわせて検討を進めているため、そのままにしています。今後精査し、必要があれば修正します。

「受信料水準」については、「現行の受信料体系のもと、『総括原価方式』の考え方を基本に料額を設定する」として、より丁寧な表現に改めました。

受信料についての項目ですが、修正前は「居住情報の利活用などの新たな制度の導入を求めるとともに」としていましたが、現在、検討を進めていますので、「新たな制度の導入を求めます」としています。また、最後に、事業収支差金に剰余が生まれた際、還元に充てる原資として積み立てるため、新たな科目の設定に向けて検討を進めることを追記しま

した。

本件が了承されれば、本日開催の第1365回経営委員会に審議事項として提出します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日開催の第1365回経営委員会に諮ります。

(2) インターネット活用業務実施基準の変更について  
(経営企画局)

インターネット活用業務実施基準(以下、「実施基準」)の変更について、変更案をとりまとめましたので、審議をお願いします。

実施基準の変更については、9月15日開催の理事会および経営委員会を経て実施された意見募集への提出意見を踏まえて、10月27日開催の経営委員会において、「経営委員会から執行部への検討を求める事項等」が示されました。

まず、これに対する主な検討結果についてです。「経営委員会から執行部への検討を求める事項等」の大半は執行部の考えを確認するもので、条文の検討を求めたのは1か所、2号受信料財源業務の費用について規定した第17条です。検討の求めを受け、具体的な数値を含めた規定に改めることにしました。あわせて、費用の算定根拠について丁寧に説明するように求められたことにも対応しました。

次に、変更素案からの修正点についてです。

第17条第1項は、中期経営計画の協会全体の収支の見通しと合わせて検討することなど、費用の考え方を明らかにする趣旨としました。第2項には、具体的な金額を明記し、「実施に要する費用は、年額200億円を超えないものとする。」としました。第3項では、費用の透明性を確保することを規定しています。附則についても1か所修正しています。今回の変更では、時限的な規定をいくつか削除していますが、削除にあたって経過規定を置くべきものがありましたので、附則1条3項に規定をおきました。

続いて、算定根拠についてです。

経営委員会からの求めを踏まえ、今回の費用の見通しの中で費用が増える見込みとなっている地方向け放送番組の配信や、国際インターネッ

ト活用業務について、より詳しく記載しました。また費用の見通しについては、素案の時点よりも圧縮しています。

本件が了承されれば、本日開催の第1365回経営委員会に議決事項として提出し、経営委員会の議決が得られれば、総務大臣に認可申請を行います。

(会長)           ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日開催の第1365回経営委員会に諮ります。

## 2 報告事項

### (1) 会計検査院による令和元年度決算検査について

(経理局)

会計検査院による令和元年度決算検査が終了し、会計検査院から内閣総理大臣に提出される「検査報告」において、NHKに関しては、指摘事項はありませんでした。

令和元年度業務についての検査概要は、財務諸表および関連書類の書面検査にあたって、2,071件、4万9,994枚の証拠書類を、計算証明規則に基づき提出しました。また、令和元年11月から令和2年9月の期間に、本部(2回)および10局所が実地検査を受けました。実地検査を実施した人員は延べ162人日になります。

この内容は、本日開催の第1365回経営委員会に報告します。

### (2) 考査報告

(考査室)

2020年10月7日から10月28日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース8項目、番組41本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目として、「GoToトラベル」キャンペーンに関する混乱を専門家の見解も交えて紹介したこと、“核のごみ”の最終処分場選定について北海道寿都町と神恵内村の文献調査への応募の動きを伝え、寿都町の実募決定を速報したこと、元非正規労働者がボーナスや退職金を求めた裁判で、最高裁が不合理な格差に当たらないとの判断を

示したことを伝えた一方で、格差の是正に向けた社会の動きを紹介したこと、核兵器禁止条約について来年1月の発効を速報し、被爆者や関係団体などの受け止めを幅広く紹介したことなどがありました。

番組では、加速する中国との“一体化”に揺れる香港の現状に迫った「NHKスペシャル 香港 激動の記録ー市民と“自由”の行方ー」（総合・10月18日放送）、ALS患者や家族が抱える矛盾した思いや苦しみを聴きとり、問題の繊細さ、切実さを浮かび上がらせた「クローズアップ現代プラス ALS 当事者たちの声」（総合・10月14日放送）、様々な現場で働くプロフェッショナルたちに目線カメラを取り付け、その視線をのぞいてみる新感覚の開発番組「新感覚！目線のぞきみバラエティー 目神サマは知っている」（総合・10月7日放送）、コロナ禍でテイクアウトを始める飲食店が増えたことを受け、日本の最新事情を交え海外とどう違うのか外国人たちと語り合った「COOL JAPAN テイクアウト Take out」（総合・10月25日放送）などの番組を考査しました。

地域番組では、見過ごされがちな日常にある、一人一人の人生のかけがえのなさを描いた「ショートストーリーズ 照子さんの終活と就活」（総合・東海・北陸ブロック・10月3日放送）、松崎しげるさんとももいろクローバーZのメンバー2人が岡山県を訪ね、地元で活躍する“玄人”に出会う「松崎しげるとももクロのくろ旅」（総合・中国ブロック・10月16日放送）などの番組を考査しました。

国際放送「NHKワールド JAPAN」では、ニュース3項目と番組1本の考査を実施しました。日米豪印4か国外相会合について、米国务長官訪日に伴う外交の動きを逐次伝えた「NHK NEWSLINE」（日本時間10月6日放送）、カメルーン出身の漫画家にスポットをあて、本人の漫画や周囲の証言を交えながら日本に暮らす外国人の共生のためのヒントを探る「Where We Call Home “Uniting People Through Manga”」（日本時間10月19日放送）などを考査しました。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、おおむね妥当であったと判断します。

(3) 放送番組審議会議事録 (資料)

(編成局・国際放送局)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、地方放送番組審議会(関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国)の2020年9月開催分の議事録についての報告。

注: 放送番組審議会の内容は、NHKのウェブサイト「NHKオンライン」の「経営に関する情報」に掲載しています。

3 審議事項

(3) 第1365回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

本日開催の第1365回経営委員会の付議事項について、ご審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として、「インターネット活用業務実施基準の変更について」、審議事項として、「NHK経営計画(2021-2023年度)(案)について」です。また、その他事項として、「会計検査院による令和元年度決算検査について」です。

(会長)           ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2020年11月24日

会長 前田 晃 伸